

Features and Benefits

Dominion® KX II-101



Features	Benefits
Flexibility	
オリジナル並びに低コストモデル	Dominion KX II-101(DKX2-101)には2つのモデルがあります。オリジナルのDKX2-101と、価格を抑えたDKX2-101-V2です。DKX2-101-V2は、実質的にオリジナルモデルと同じ性能を保持しています。ただし、Power-over-Ethernet (PoE) と PS2 ローカルポートはサポートしていません。
ノンブロッキングKVM over IP アクセス	DKX2-101は、1ポート1リモートユーザのKVM over IP デバイスです。ユーザ個々のアクセス経路が必要な環境、例えばデータセンターや研究室などでの使用に理想的です。
「ゼロU」サイズ	遠隔地や支店・営業所など、限られたスペースでの利用に適した手のひらサイズのデバイスです。
仮想メディア	対象サーバにリモートドライブ/メディアをマウントし、ソフトウェアのインストール、リモートブートおよびアップグレードをサポート。 DKX2-101は、CD/DVDドライブ、ローカルハードドライブ、USBメモリスティックおよびISOイメージファイルなど、幅広いメディアをサポートします。
電源オプション	オリジナルのDKX2-101は、PoE または外付けACアダプタによる電源供給が可能です。DKX2-101-V2は外付けACアダプタのみで、PoEはサポートしていません。
可用性	
外付けモデムをサポート	多機能シリアルポートを装備しているため、アウトオブバンドアクセスのモデムを接続することができます。
セキュリティ	
256ビットのAES暗号化	次世代標準暗号化方式Advanced Encryption Standard(AES)暗号化の採用により、セキュリティを強化。AESは、米国政府が承認する暗号化アルゴリズムで、米国商務省標準技術局(NIST)のFIPS標準197で推奨されています。
「強力なパスワード」機能	管理者による設定が可能な「強力なパスワード」機能を装備。ログイン試行失敗時のパスワードエージングやロックアウトを強化することができます。

Features	Benefits
グループおよびポートレベルでの許可	管理者はポートレベルで IT 機器へのアクセス許可を設定することができます。また、仮想メディアや電源制御権の承認または拒否を設定することも可能です。
RADIUS、LDAPおよび Active Directory®認証	LDAP または RADIUS プロトコルを使用して、Microsoft®の Active Directory などの業界標準のディレクトリサーバを統合。これにより、既存のユーザ名とパスワードのデータベースを使用してセキュリティを確保できます。
使いやすさ	
「ずれないマウス」 (Absolute Mouse Synchronization™)	ずれないマウス機能は、究極のマウス同期ソリューションです。互換 USB マウスポートを持つサーバの場合、対象サーバでマウス設定を変える必要はありません。また、対象サーバのマウスポインタとリモートクライアントが同期するため、操作が格段にスムーズになります。
次世代共通ユーザインタフェース	DKX2-101 の Web ブラウザベースのユーザインタフェースは、ローカル／リモート管理画面ともに他の Raritan 製品と共通のインタフェースです。これにより、トレーニングに必要な時間が短縮され、生産性の向上につながります。
プラグアンドプレイによる簡単な導入	DKX2-101 は完全自立型のユニットです。認証や Web アクセスなど、DKX2-101 のすべての機能がユニットに組み込まれており、管理用途のサーバを追加する必要がありません。
管理性	
リモート電源制御	DKX2-101 は、多機能シリアルポートを装備しており、Raritan のインテリジェント PDU、Dominion PX™の接続が可能です。これにより、管理者は DKX2-101 の管理インタフェースから、リモートでデバイスの電源の切り替えを行うことができます。
SNMP 管理と Syslog	重要なシステムイベントに関する SNMP トラップを SNMP 管理システムへ送信。SNMP トラップは、すべての設定を管理者が実行できます。Syslog もサポートされます。
CommandCenter® Secure Gateway(CC-SG)による集中管理	Dominion シリーズの他の製品同様、DKX2-101 は CC-SG との統合を特長とします。これにより、エンタープライズユーザは、すべての Dominion デバイスを単一の論理システムに統合し、1 つの IP アドレスから同じ管理インタフェースを使ってアクセスすることができます。